

第 37 回 神奈川県がん診療連携協議会 議事録

日 時：令和 8 年 3 月 16 日(月) 16 時 00 分～19 時 00 分

形 式：集合会議

会 場：神奈川県立がんセンター 管理・研究棟 5 階 講堂

出席者：75 名(出席者名簿 別添)

1. 会議の概要と開催目的

本会議は、神奈川県がん診療連携協議会の年度末協議として開催され、令和 8 年度（2026 年度）以降の神奈川県におけるがん診療提供体制の方向性、とりわけ「均てん化」と「集約化」を中心テーマとして、多岐にわたる審議・報告・承認が行われた。

前回（12 月）の臨時協議会で示された国の方針を踏まえ、県レベルでの具体的な実装体制（部会新設、ブロック会設置、患者団体参画等）を制度・運営の両面から整理することが主目的である。

2. 神奈川県がん対策推進審議会からの報告（拠点病院指定）

2-1 新規指定の結果

令和 7 年度に申請のあった **3 病院** について、国の検討会において要件充足が確認され、**地域がん診療連携拠点病院として新規指定** された。指定期間は **令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日（1 年間）**。

2-2 今後の県推薦方針

県としては、

- 医療圏人口
- 病床数
- 医師 1 人当たりの患者数
- 医療圏内における拠点病院数

等を指標とし、推薦対象医療圏を整理。

その結果、**横浜市・川崎市・相模原市は当面「新規指定対象外」** とする方針が示され

た。

ただし、医療圏の状況変化に応じ **定期的な見直しを行う** ことが明言された。

3. 国の方針を踏まえた協議会体制の再編

3-1 幹事会の新設

協議会運営を機動的に行うため、

- 協議会長
- 副会長
- 各部会長
- 県担当者

からなる **幹事会** を設置。

3-2 患者団体の参画

国通知（2040年を見据えたがん医療提供体制）を踏まえ、**患者団体の協議会参画を必須化**。

- 公募制（書類＋面接）
- 神奈川県登録患者団体が対象
- 令和8年度第1回協議会（7月28日予定）より参加

👉 選考方法・スケジュールは本会議で正式承認。

4. 新設・再編される主な組織体制

4-1 放射線治療部会の設置

放射線治療は「集約化」が特に求められる分野であることから、

- 県内医療機関の提供体制
- 課題の可視化

- 将来的な集約化議論

を行う **放射線治療部会** を新設。

👉 医師に加え、**診療放射線技師の参加も可** とする柔軟な構成が承認された。

4-2 ブロック会（医療圏別）の設置

県内 11 医療圏を単位として、

- 医療圏ごとの課題整理
- 集約化・均てん化の具体的検討

を行う **ブロック会** を設置。

各医療圏に **リーダー施設** を選定（都道府県がん診療連携拠点病院、特定機能病院、地域がん診療連携拠点病院）。

本会議で **全 11 施設が正式承認** された。

5. 診療実績・がん登録データの一元的発信

5-1 現況報告データの可視化

院内がん登録・現況報告データをもとに、

- がん種別
- 治療別（手術、放射線等）

の **グラフ化** を進め、県ホームページで公開する方針が承認された。

県指定病院の実績も併せて掲載し、**患者が医療機関に相談しやすくする導線** を整備。

5-2 検索性向上の課題

既存の PDF（約 170 ページ）は患者・県民にとって分かりにくいいため、

- がん種別で直接アクセスできる構成
- リンクによる施設情報への誘導

を検討していくことが共有された。

6. 主要部会・検討会の活動報告（概要）

6-1 ピアサポート促進検討会議

- ピアサポーター派遣事業は順調
- 研修・フォローアップ体制を強化
- 今後は **評価（自己評価・受入医療機関評価）の可視化** に取り組む

6-2 がんゲノム医療推進検討会議

- 治験情報共有システムの開発状況
- 連携病院でのエキスパートパネル実施の可能性
- 先進医療 A（遺伝子パネル検査）への対応準備

👉 将来的に **連携病院拡大の可能性** が示された。

7. 相談支援部会・院内がん登録部会・緩和ケア部会・

7-1 相談支援部会

- 2025 年度は 7 つのワーキングで活動
- AYA 支援、災害 BCP、ピアサポート等を重点実施
- 2026 年度は **研修回数を整理し、事務局主導で効率化**

7-2 院内がん登録部会

- 総合病期「不明率」低下を継続課題とする
- 全国がん登録制度変更（保険者番号入力義務化）への対応が重要
- 自施設システム改修が必要となる可能性が共有された（国補助なし）

7-3 緩和ケア部会

- 国の緩和ケア部会ではワーキンググループが開催され、今後の拠点病院の整備に関して提言を行う
- 県の緩和ケア部会では、家族ケアをテーマに話し合い、講演を実施した。

- 国の通知では、緩和ケアは均てん化していく分野とされている。

7-4 がん薬物療法部会

- テーマは昨年度に引き続き、がん薬物療法に関わる共通のマニュアルの作成
- 5つのテーマが抽出され、第1回部会後に立ち上げたワーキンググループが作成した共通マニュアルのたたき台をもとに、第2回部会でもグループワークを行った。
- 次年度に向けてワーキンググループの中でさらに内容を精査し、次回最終成果物の発表予定。

7-5 PDCAサイクル推進部会

- 神奈川県がん診療連携協議会のPDCAサイクルが回るように推進するための部会として位置づけられている

7-6 PSMAワーキング

- PSMA治療の運用上の課題を県内で共有し整理する議論の場を設けるために新たに設置する

8. 総括と今後の方向性

本会議では、

- 国の政策動向を踏まえた **組織再編**
- 患者参画を含む **協議会の開放性向上**
- 医療圏単位での **実践的議論の場（ブロック会）**

が正式に承認され、「**議論から実装へ**」進む**転換点**となった。

令和8年度は、

- ブロック会の立ち上げ
- 放射線治療部会の本格始動
- 患者団体の参加開始

など、実務的負荷が大きい一方、**神奈川県モデルとして全国に先行する可能性**を持つ重要な年度となることが確認された。

令和8年度の協議会開催予定は、第1回は、令和8年7月28日(火)、第2回は、令和9年3月15日(月)とする。
